

2022年度通常公募 団体情報シート				
団体名	特定非営利活動法人認知症フレンドシップクラブ		団体web サイトURL	https://dfc.or.jp/
主 題	申請事業名 初期段階の認知症の人と家族の働く場づくり		申請受付番号	220138
			申請事業の分野①	①草の根活動支援事業
			申請事業の分野②	①-1 全国ブロック
副 題	誰もが役割と居場所を持つ地域共生社会へ		申請事業の分野③	
優先すべき社会の諸課題選択科目				
領域①	2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動		領域②	2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動
分野①			分野②	
④ 働くことが困難な人への支援			⑤ 孤独・孤立や社会的差別の解消に向けた支援	
-			-	
領域③	3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動			
分野③	⑦ 地域の働く場づくりの支援や地域活性化などの課題解決に向けた取組の支援		領域④	3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動
-			分野④	
-			⑧ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援	
-				
申請事業概要				
公的な支援がほとんどない初期段階の認知症の人（全国に260万人）と家族を対象に、地域社会とつながり、役割を持ち続けることができる「はたらく場」を作る。認知症の人や家族との協働実績がある個人・グループや、地域づくりに力を入れる社会福祉法人などを中心に募集をかけ、認知症の人が役割や生きがいを持てる仕事や、家族と一緒に働けたり連動できる仕事の開発をする。認知症の人が作る木工製品で数千万円の売上がある富士宮市・木工房のように、事業収入を主たる収入源となるような活動基盤を目指し、マーケティングやデザインの専門家とマッチングするなど、伴走支援を実施する。また、活動を通じて、認知症の人や家族のQOLの向上につながっているかを測定し、介護保険制度など公的な制度への反映も視野に政策提言をしていく。事業実施後には、全都道府県に同様の事業が広がり、希望する当事者がはたらく場にアクセスできる環境の実現を目指す。				

団体組織情報		
1	●設立・法人取得年月日	
	設立年月日	2006/04/21
	法人格取得年月日	2006/04/21
2	●団体概要	
	団体概要	認知症になっても変わらないまちづくりを目指し、中間支援団体として、ファンドレイジングイベントを開催。全国で認知症の人と地域の人を繋いできた。 2016年より「認知症まちづくり基金」を設立し、各種地域団体への助成を実施してきている。 また、2018年より、所属ネットワーク団体と学生が一緒に認知症の課題を考え、実践していくプロジェクトを立ち上げ、地域社会で活動を継続しているよう取り組んでいる。
3	●代表者情報	
	代表者名	井出 訓
	代表者の役職	理事長
	代表者名 2	
4	●役員	
	役員の人数	10人
	（その内）監事/監査役・会計参与の人数	1人
	置いている監事のうち公認会計士または税理士の人数	0人
5	●事務局職員	
	職員・従業員合計	2人
	以下、職員・従業員の内訳	
	常勤・有給・有期	0人
	常勤・有給・無期	0人
	常勤・無給(有期・無期)	0人
	非常勤・有給・有期	1人
	非常勤・有給・無期	0人
	非常勤・無給(有期・無期)	1人
6	●資金管理体制	
	決済責任者、経理担当者、通帳管理者のうち、決済責任者と通帳管理者が異なること	異なっている
7	●区分経理・帳簿	
	1.必要な会計帳簿が備えられている	はい
	2.業務別に区分経理ができる体制である	はい
8	●監査	
	年間決算の監査を行っているか	①監事で実施

助成実績		
1	前年度の助成件数 (件)	3件
2	前年度の助成総額 (円)	1,414,400円
3	助成事業の実績内容 2016年度より「認知症にやさしいまちづくり基金」プロジェクト：be Orangeを立ち上げ、認知症にやさしい町づくり活動を公募し、助成を行っている。2021年度までに、全国から応募のあった活動より選ばれた21プロジェクトに対し助成を行なっている。2021年度の助成プロジェクトとしては、「まるごとと生き生き!行きたくなる居場所プロジェクト」「ピアカフェ〜いつでもどこでもだれとでも〜プロジェクト」「買い物へるぶサポートプロジェクト」の3件に対し助成を行った。また、2018年度より、学生と共に認知症にやさしいまちづくりを考えていくことをコンセプトとした、認知症まちづくりコンペ：多世代町づくりプロジェクトを行なっている。これは、将来のまちづくりに欠かせない若者の力と、しでに地域活動を行うメンバーが力を合わせ、"地域の安心のもと"となるアイデアを考え、地域に根ざす活動の発展につなげていくことを目指したプロジェクトです。認知症まちづくり基金であるbe Orangeと同様に、広く学生を巻き込んだ活動を公募し、コンペによって活動助成を行なっている。多世代まちづくりプロジェクトでは、2021年度までに13件の活動を表彰し、女性を行なってきた。2021年度の表彰プロジェクトは、「若い世代に伝える『オレンジ教室』プロジェクト」「人と人をつなぐ『musubun』カフェプロジェクト」「認知症カフェからやさしいまちへプロジェクト」「認知症×医療学生/地域わっこプロジェクト」の4件だった。	